

# 市民協働事業 相互評価シート

## 1 市民協働事業の概要

事業名称	港南区民活動支援センター運営事業	
事業の実施者	団体等	一般社団法人こうなん区民利用施設協会
	行政	横浜市
事業の目的	港南区域における中間支援組織として、地域課題の解決や魅力ある地域づくりに向けた市民公益活動と生涯学習活動を支援します。	
事業の内容	ア ネットワークの構築 イ 相談・コーディネート ウ 市民公益活動に関する活動の場の提供、活動支援に関すること エ 市民公益活動に関する情報の収集・提供・発信に関すること オ 人材バンク（街のアドバイザー）事業に関すること カ 区民利用施設等との連携による活動支援 キ 講座・イベントに関すること ク その他区長が必要と考える事業	
役割及び責任分担等	次頁の「【別紙】事業の役割及び責任分担表」	
実施期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで	

記入日	令和 6 年 3 月 31 日
記入者	[団体等] ・団体等名： 一般社団法人こうなん区民利用施設協会 ・記入責任者 港南区民活動支援センターセンター長 氏 名： 泉 有子 連絡先： 045-841-9361
	[行政] ・部署名： 港南区役所地域振興課 ・記入責任者 地域振興課長 氏 名： 松田 博之 連絡先： 045-847-8399

## 2 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

### ◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

### ①事業計画段階

		センター→行政	行政→センター
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合っよく理解することができましたか。	B	B
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合っ決めてことができましたか。	A	A
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合っ役割分担を決めることができましたか。	A	A
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合っよく理解することができましたか。	A	B
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	B

### ②事業実施段階

		センター→行政	行政→センター
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	B	A
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	A	A
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	B	B
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	A	B
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	B

### ③ふりかえり段階

		センター→行政	行政→センター
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果を得られたか、話し合っ共有できたか。	A	A
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	A	B
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A
4	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

### 3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

#### 【センター→行政】

<b>事業の計画づくり</b> (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・月に一度の事務連絡会があることで、計画段階から情報の共有ができるようになりました。</li><li>・すべての事業を協働計画に則って計画していますが、定例会・事務連絡会で報告する事業の選別が曖昧で分かりづらいつ感じました。</li></ul>
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・センターには、区民の活動における相談や、問い合わせが多く、常に新鮮で正確な情報を提供するためには、日頃より区役所の地域振興課以外の部署ともより良い関係性を構築し、事業の連携や情報共有が必要だと考えます。</li></ul>
<b>事業実施</b> (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・協働事業では双方が連携し、参加者の満足度の高い事業の実施ができました。</li><li>・「地域デビュー講座」では、地域振興課の「区民企画運営講座」へ橋渡しができればと企画し、講座内容は大変好評でしたが、地域振興課の考える目標と参加者のニーズが異なり、次の担い手となるような人材を発掘する事業にはなりませんでした。</li></ul>
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ネットワーク会議では、区内の区民利用施設等の施設長・職員が一同に集まる貴重な機会なので、施設の交流を創出し、支援するための取り組みや、地域振興課より新しい事業、市・区の方針や考え方などを発信する必要があると考えます。</li><li>・地域の人材を発掘・養成する事業では、講座運営にも地域振興課の協力を仰ぎ、目標達成に向けて連携を図りたいと思います。</li></ul>
<b>事業の成果</b> (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域振興課の『まなび応援事業』とコラボして、フェスタでのパネルと写真の展示を行いました。</li><li>・地域のホコ天イベントでは共に出展をし、協力して地域の活性化に貢献しました。</li><li>・定員の関係で、センターでは開催できない催しを区役所の会議室を利用して開催でき、より多くの区民が参加できました。</li></ul>
<b>自由記入欄</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域振興課職員が区内の施設へ出向き、センターの広報を積極的に行い、細かいニーズや新しい地域人材の情報の提供をしてくれています。</li><li>・日頃より地域振興課職員とは密な情報共有ができているため、事業の実施やイベントでも双方の役割を理解し、実施できています。</li></ul>

## 【行政→センター】

### 事業の計画づくり

(協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

#### 【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・ 月に一度の事務連絡会の開催や日頃の連携を通じ、事業の意義や双方の考える目標を計画の段階で共有することができた。
- ・ 事業を実施して終わりではなく、その後区役所事業やグループ化などの「社会参画」につながることを意識して話し合いを重ね、計画をつくることができた。

#### 【今後改善が必要と思われること】

- ・ グループ化などの“その後”を見据えた事業実施に向けて、講師との打合せ等の早い段階から連携・協力することで、より幅広い活動支援につなげていけると良い。
- ・

### 事業実施

(協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

#### 【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・ 双方の仕事や役割を理解した上で、事業の実施に対して協働で実施する体制ができてきた。
- ・ 区民利用施設との連携や情報が増え、区が実施する施設連携事業の打合せへ参加など積極的な協力があつた。また、ネットワーク会議における事業成果発表の場の設定など、区事業との連携により、施設連携に向けたより充実した支援を実施することができた。

#### 【今後改善が必要と思われること】

- ・ 定例会の参加者や共有事項などについて年度末に整理することができたため、令和6年度以降はより密に多くの情報交換を行い、日頃の事業実施等に活用していただきたい。
- ・ 双方の事業目的や目標について、引き続き情報共有や話し合いをこまめに行うことが必要。
- ・ ひまわりネットワークのより効果的な活用について、各施設の意見もふまえ、方向性の検討が必要。

### 事業の成果

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

- ・ 日頃の事務連絡会や密な情報共有を通して双方の仕事や役割への理解が深まったことで、区役所事業への出張説明や施設を対象とする生涯学習事業への協力、地域イベントへなど、当初の計画を超えて関わり、協力することができた。

### 自由記入欄

・ 区民活動支援センターの運営や利用などについて利用者からご意見をいただいた際に、現場の声と委託者としての考え方を細かく共有することで、より良い運営につなげることができた。引き続きより良い区民活動支援センターの運営に向けて、協力して取り組んでいきたい。